



全4回 先着順

開場 13時00分～

- あいこうか市民ホール 定員 772名
- 碧水ホール 定員 336名

*定員を超えた場合は入場できない場合があります。

戦国時代・織豊期の歴史および城郭

群雄割拠の戦国時代。甲賀の武士たちは独自の社会体制を構築し、小規模な城館を数多く築いた。しかし、統一権力による巨大城郭の出現が甲賀の近世の幕開けとなり、社会体制が変革した。激動の時代の甲賀、その姿と魅力に迫る。

令和元年
12/8
SUNDAY
13時30分～

水口岡山城歴史フォーラム 水口・伊賀上野・亀山の城と城下町

場所 碧水ホール
講師 藤田達生(三重大学教授) 山村亜希(京都大学教授)
主催 甲賀市教育委員会

令和元年
12/22
SUNDAY
13時30分～

歴史講演会 甲賀と豊臣政権

場所 碧水ホール
講師 中野 等(九州大学教授)

令和2年
1/26
SUNDAY
13時30分～

歴史講演会 近江の戦国・甲賀の戦国

場所 あいこうか市民ホール
講師 小和田哲男(静岡大学名誉教授)

令和2年
2/8
SATURDAY
13時30分～

歴史講演会 甲賀流・戦国の城を楽しむ

場所 碧水ホール
講師 中井 均(滋賀県立大学教授) 萩原さちこ(城郭ライター)

講師



藤田達生
三重大学教授



山村亜希
京都大学教授



中野 等
九州大学教授



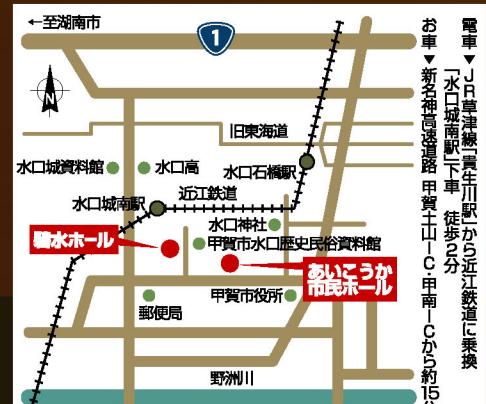
小和田哲男
静岡大学名誉教授



中井 均
滋賀県立大学教授



萩原さちこ
城郭ライター



<お問い合わせ先> 甲賀市観光協会 TEL 0748-60-2690 (甲賀市甲南町野田810)

(主催) 水口ロータリークラブ (共催) 甲賀市教育委員会 (一社)水口岡山城の会

(後援) 甲賀市 (公社)びわこビジターズビューロー



甲賀流 戦国歴史講演会

全4回

水口岡山城歴史フォーラム

主催:甲賀市教育委員会

水口・伊賀上野・亀山の城と城下町

日時 令和元年(2019年)12月8日(日)
13:30~16:30(開場13:00)

場所 碧水ホール
(甲賀市水口町水口5671)

申込み 不要(無料)※先着順になります。



天正13年(1585)に築かれた水口岡山城は、統一政権の象徴として甲賀に新たな時代の到来を告げた。築城とともに整備された城下町は、「三筋町」と呼ばれる水口の町の基礎を形づくり、江戸時代になると、近世東海道の水口宿として繁栄した。さらに、寛永11年(1634)、徳川幕府によって築かれた水口城が完成すると、城下町が拡張され、水口の原形が完成する。

織豊期から近世初頭にかけて出現し、現在の町並みの基礎を築いた城と城下町。社会体制が変革し、町の構造が変化した様子を甲賀に隣接する伊賀上野と亀山も含めて検討し、水口の魅力に迫る。

プログラム

13:30 開会

13:40~14:20 基調講演1「総論～織豊期から近世初頭の時代～」
藤田 達生(三重大学教授)

14:20~15:00 基調講演2「織豊期から近世初頭の城下町」
山村 亜希(京都大学教授)

15:00~15:20 休憩

15:20~16:30 フォーラム「水口・伊賀上野・亀山の城と城下町」

歴史講演会

主催:水口ロータリークラブ

近江の戦国・甲賀の戦国

日時 令和2年(2020年)1月26日(日)
13:30~16:30(開場13:00)

場所 あいこうか市民ホール
(甲賀市水口町水口5633)

申込み 不要(無料)※先着順になります。



戦国時代の宝庫「近江」。織田信長、豊臣秀吉、明智光秀、浅井長政など名だたる武将が権力を争い、安土城、小谷城、長浜城、坂本城、観音寺城など有名な城跡も数多く残る。

近江の最南端に位置する甲賀は、琵琶湖に面していない地域であるが、伊賀へ抜ける重要なルート上に位置し、「甲賀郡中郷」と呼ばれる独自の自治組織を形成した。甲賀市内には現在、200箇所あまりの城跡が確認されている。小規模な城跡が多いが、城跡が密集している状況は中世甲賀の社会体制との関連が注目される。

戦国ワンダーランド「近江・甲賀」。テレビなどでご活躍の小和田哲男先生に導かれ、さあ、その魅力に迫ってみよう。

プログラム

13:30 開会

13:40~15:00 基調講演「近江の戦国 甲賀の戦国」
小和田 哲男(静岡大学名誉教授)

15:00~15:20 休憩

15:20~16:30 パネルディスカッション
「戦国ワンダーランド近江 甲賀」

歴史講演会

主催:水口ロータリークラブ

甲賀と豊臣政権

日時 令和元年(2019年)12月22日(日)
13:30~16:30(開場13:00)

場所 碧水ホール
(甲賀市水口町水口5671)

申込み 不要(無料)※先着順になります。



中世から近世へ。社会体制が大きく変容する時代。甲賀におけるターニングポイントは水口岡山城の築城である。水口岡山城は、天正13年(1585)に中村一氏によって築かれ、増田長盛・長束正家が歴代の城主に名を連ねる豊臣政権の重要な拠点の一つであった。

統一政権によってもたらされた甲賀の新時代。中世甲賀の社会を大きく変革させた豊臣政権の力。五奉行の増田・長束が城主だった水口岡山城は、豊臣政権の象徴として存在したのだろう。

五奉行、長束正家、豊臣政権をキーワードに甲賀の魅力を掘り下げる。

プログラム

13:30 開会

13:40~15:00 基調講演「秀吉を支えた奉行たち
-増田長盛と長束正家を中心として-」
中野 等(九州大学教授)

15:00~15:20 休憩

15:20~15:40 紙芝居「水口岡山城物語」(一社)水口岡山城の会

15:40~16:30 パネルディスカッション「甲賀と豊臣政権」

歴史講演会

主催:水口ロータリークラブ

甲賀流・戦国の城を楽しむ

日時 令和2年(2020年)2月8日(土)
13:30~16:30(開場13:00)

場所 碧水ホール
(甲賀市水口町水口5671)

申込み 不要(無料)※先着順になります。



戦国の城。その多くは、土星や堀を用いた土造りの城である。

甲賀市内には200箇所あまりの城跡が存在するが、その大半は土造りの城であり、石垣が伴う城は少ない。さらに、多くの城跡が小規模であり、「単郭方形四方土塁型」、通称「甲賀型」と呼ばれるものである。

小規模な城跡が密集する様子は、中世甲賀の社会体制との関連性で注目され、日本遺産「忍びの里 伊賀・甲賀」の世界を体感できる貴重な歴史資産である。

市内の数多く存在する城跡の魅力を知り、如何に楽しむか。城跡エキスパートの語る言葉に耳を傾け、城跡の魅力の深みにはまってみよう。

プログラム

13:30 開会あいさつ

13:40~14:20 講演1「甲賀の城の魅力」
中井 均(滋賀県立大学教授)

14:20~15:00 講演2「戦国の城の魅力」
萩原さちこ(城郭ライター)

15:00~15:20 休憩

15:20~16:30 対談「甲賀流・戦国の城を楽しむ」